

ブラジル金融政策(2018年8月) ～市場予想通り政策金利を据え置き～

2018年8月2日

お伝えしたいポイント

- ・ ブラジル中央銀行は市場予想通り政策金利を据え置き
- ・ インフレの加速などストライキの影響は一時的なものと思込む
- ・ 本格化していく大統領選挙に引き続き注目

＜ブラジル中央銀行は市場予想通り政策金利を据え置き＞

ブラジル中央銀行は8月1日(現地、以下同様)、政策金利を全会一致で6.5%に据え置きました。市場では、大半が政策金利の据え置きを予想していました。

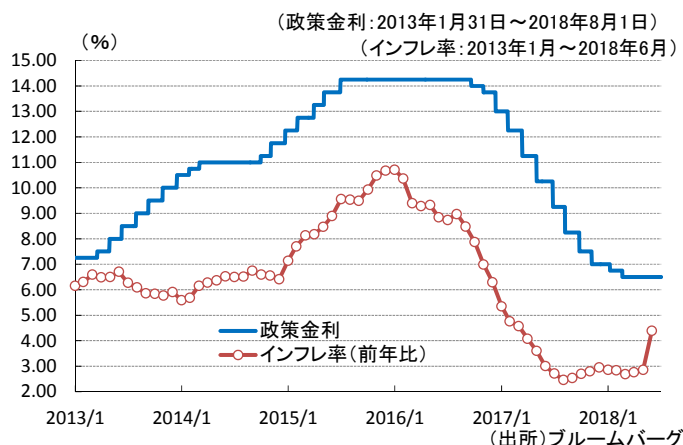
中央銀行は声明文で、5月下旬に発生したトラック運転手のストライキによって生じた物流網のまひが、最近の経済活動に影響を与えており、ブラジル経済の景気回復のペースは想定されていたよりも緩やかなものになると述べました。

また、6月のインフレ率が5月の前年比2.86%から同4.39%に急上昇したことについては、ストライキなどの影響による物価上昇圧力を反映したとしつつ、その影響は一時的なものであり、基調としてインフレ率は依然低い水準にとどまっているとの見方を示しました。

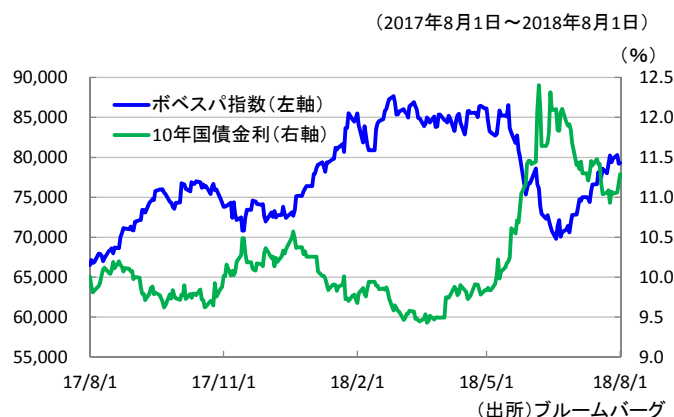
今回の金融政策委員会では、足元のインフレが急加速しつつも、依然として中央銀行のインフレ目標の範囲(3%～6%)内にあり、今後も加速を続けるとは想定されないことから、政策金利を据え置いたとみられます。

今後の金融政策については、経済状況次第であるとして、声明文での具体的な言及はありませんでした。

《政策金利とインフレ率の推移》



《国債金利および株価指数の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<インフレの加速などストライキの影響は一時的なものを見込む>

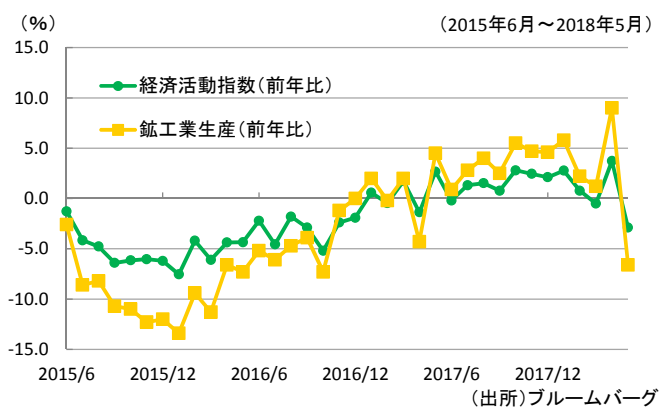
声明文でも言及された通り、5月下旬に始まったトラック運転手によるストライキの影響が7月に発表された各種経済指標に表れてきています。インフレ率の急上昇以外にも、5月の鉱工業生産や経済活動指数などは大幅に下落しました。また、中央銀行が発表した6月のインフレ報告書では、3月時点で2.6%とされていた2018年のGDP(国内総生産)成長率見通しが、1.6%に下方修正されました。

ただし、当社では中央銀行の見方と同様に、ストライキの影響は一時的なものを見込んでおり、ブラジルが景気回復の途上にあるという見方を維持しています。

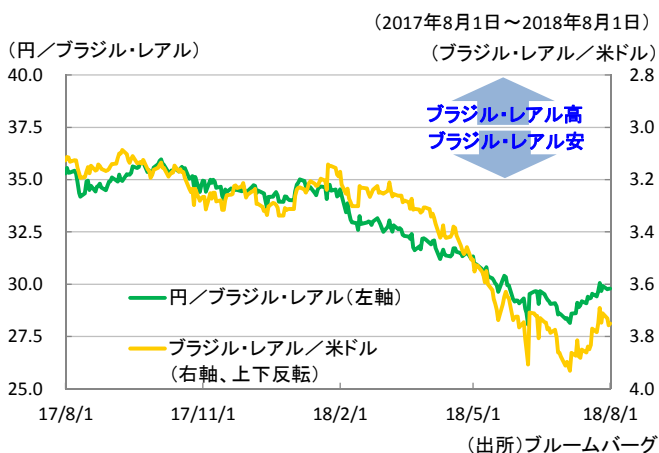
ブラジル中央銀行が発表している市場のインフレ見通しは、直近では2018年末、2019年末でともに4.1%程度と、6月のインフレ率の急上昇後も中央銀行のインフレ目標の4.5%を下回っており、市場においてもストライキの影響の長期化は想定されていません。

当社では、インフレ率が抑制されている中で、中央銀行が政策金利を引き続き低位に据え置き、ブラジルの景気回復を支援するとみています。

《鉱工業生産、経済活動指数の推移》



《ブラジル・レアルの推移》



<本格化していく大統領選挙に引き続き注目>

10月の大統領選挙については、8月15日の候補者の登録期限が近づく中で各政党・候補者の動向に注目が集まっています。

直近の世論調査では極右のボウソナロ氏が依然として優勢となっていますが、市場の信認が厚いアルキミン氏を中道の超党派グループが支持すると表明したことで、選挙情勢に変化が出つつあります。アルキミン氏は、超党派グループの支持を得ることで、支持グループの下院議席数に応じて配分されるテレビ・ラジオでの政見放送の持ち時間を大きく獲得することができます。

ブラジルの大統領選挙では、過去において政見放送が選挙結果に大きな影響を与えてきたといわれており、アルキミン氏の支持が高まっていけば、ブラジル・レアルの下支え要因となることも考えられます。

ブラジル・レアルは大統領選挙の行方に左右される展開が予想されます。引き続き、本格化していく大統領選挙を注視する必要があると考えます。

《選挙日程》

7/20～8/5	各党が立候補者や連立を決定
8/15	立候補の申込締切
8/31	テレビ・ラジオ放送開始
10/7	第1回投票
10/28	第2回投票

(出所)各種資料より大和投資信託作成

以上

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・ブラジル金融政策(2018年6月)～政策金利は据え置き。今後の利上げ余地を残す～(2018/6/21)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180621_1.html
- ・ブラジル株式市場の見通し～内憂外患も、不透明要因が和らげば反発を見込む～(2018/6/8)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180608_1.html
- ・新興国からの資金流出懸念などでブラジル・レアルは下落(2018/5/25)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180525_2.html
- ・ブラジル金融政策(2018年5月)～市場予想に反して政策金利を据え置き～(2018/5/17)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180517_1.html
- ・ブラジル金融政策(2018年3月)～0.25%ポイントの利下げを行い、追加緩和を示唆～(2018/3/22)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180322_2.html
- ・ブラジル金融政策(2018年2月)～0.25%ポイントの利下げを行い、金融緩和サイクルの終了を示唆～(2018/2/8)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180208_1.html
- ・ルラ元ブラジル大統領への有罪判決で年金改革への期待感が継続(2018/1/25)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180125_2.html
- ・ブラジルの格下げについて(2018年1月)(2018/1/12)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180112_1.html
- ・ブラジル出張報告②(経済・社会の「今」)～経済、金融市場の安定を保つ上でも構造改革の進展は重要～(2018/1/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180105_1.html
- ・ブラジル出張報告①(政治の「今」)～年金改革および大統領選挙の行方～(2017/12/26)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171226_1.html
- ・ブラジル金融政策(2017年12月)
～利下げ幅を縮小しながら金融緩和を継続。堅調な国内景気がレアルの下支え要因に～(2017/12/7)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171207_3.html

◇動画

- ・2018年ブラジル経済見通し～底堅い経済成長を期待～(2018/2/1)
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov96.html>

◇Weekly Report

- ・ブラジルの金融市場動向(毎週更新)
<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=6>

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>